

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2022年3月17日

## MICE アンバサダーに新たに3名就任いただきました！

2月27日付で、京都大学の池田昭夫教授、大阪大学の阪井丘芳教授、九州工業大学の清水陽一教授の3名の方に日本政府観光局（JNTO）の「MICE アンバサダー」にご就任いただきました。

MICE アンバサダーには、国内外の学術分野や産業界において強い発信力やネットワークを有する国内の有識者に就任していただいております。様々な場面で国際会議の誘致活動や国際会議開催の意義の啓発・広報活動にご尽力いただいております（MICE アンバサダー制度は2013年から開始。今回の3名を含めて総勢76名）。

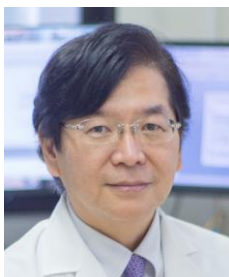
JNTOでは、国際会議開催アジアナンバー1の地位を目指し、今後も更なる国際会議の誘致・開催に努めてまいります。

### ◆2021年度下期に新たに就任した MICE アンバサダー

（※敬称略）

#### 池田 昭夫（いけだ あきお）

京都大学 大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座 教授



2013年、京都大学大学院医学研究科、てんかん・運動異常生理学講座の教授となり、その後日本てんかん学会の理事長や日本臨床神経生理学会(JSCN)の理事などに就任。

国際抗てんかん連盟（ILAE）や米国臨床神経生理学会をはじめとする数多くの国際・国内学会で運営委員、学術委員等を歴任しており、2013年～2017年には、ILAE 公式の医学雑誌である「エビレブシア」でアジア初となる編集者(associate editor)を務めた。ILAE のアジアオセアニア代表、JSCN 理事として国内外の将来のてんかん、脳波、臨床神経生理学の専門医と臨床研究者の養成と教育機会を広く提供し若手育成に尽力している。

2020年に福岡で開催を予定していた「第13回アジアオセアニアてんかん会議」は新型コロナウイルスの感染拡大により延期となったが、日本てんかん学会の理事長および ILAE のアジアオセアニア代表として指揮を執り、2021年6月に完全オンライン形式で開催し、成功裏に終えた。

次ページに続く

#### 【お問い合わせ先】

MICE プロモーション部 誘致推進グループ

担当：西込・大平・河横・野村

TEL：03-5369-6015 E-MAIL：convention@jnto.go.jp

**阪井 丘芳 (さかい たかよし)**

大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室 教授



2006年より、大阪大学大学院歯学研究科の教授となり、米国国立衛生研究所(NIH)の特任教授も兼任している。NIH Visiting Program Award(2000年、2004年に2度受賞)や第89回米国口腔顎顔面外科学会最優秀講演賞(2007年)など、数多くの賞を受賞。

第15回国際口蓋裂・頭蓋顔面異常学会の誘致に成功し、開催にあたっては国際学会準備委員会委員長を務めており、開催時には会長に就任予定であるとともに、国際本部である国際口蓋裂学会(International Confederation of Cleft Lip & Palate and Related Craniofacial)の理事長に就任予定(2022~2025年)。また2025年大阪・関西万博における「未来の病院先端医療展示」のアドバイザーにも任命されており、国内外メディアへの露出を通して大きな影響力が期待できる。

**清水 陽一 (しみず よういち)**

九州工業大学 大学院工学研究院 教授



2004年、九州工業大学工学部の教授、2008年、同大学大学院工学研究院、物質工学研究系の教授となり、2021年度電気化学会の理事及び九州支部長、2020年度日本セラミックス協会の理事及び九州支部長、同基礎科学部会長も歴任している。また、九州ファインセラミックステクノフォーラムの副会長、ファインセラミックス団体協議会議長の職責を現在も担っている。

ITE Research Award(米国、国際技術交流協会、2004年)、日本セラミックス協会フェロー表彰(2021年)、電気化学会フェロー表彰(2022年)など、数多くの賞を受賞。

アメリカ電気化学会(The Electrochemical Society)のセンサ部門に20年以上所属し、人脈と大きな影響力を有するため、今後関連分野での国際会議の誘致・開催活動が期待できる。